

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE埼玉圏2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)狭山日高IC開発計画新築工事	階数	地上5階
建設地	埼玉県飯能市大字芦荻場字久保12	構造	RC造
用途地域	指定なし、市街化調整区域	平均居住人員	645 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2018年12月19日
敷地面積	36,815 m ²	作成者	小野、安部、上田
建築面積	24,258 m ²	確認日	2019年12月25日
延床面積	84,132 m ²	確認者	小野、安部、上田



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算: 建設(青), 修繕・更新(緑), 解体(赤), 運用(黄), オンサイト(白), オフサイト(黒)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 周辺環境に配慮し、北側道路沿いに緑地を配置した配棟計画としています。 テナント物流倉庫のため、特に設備の更新性の高い計画としました。		その他 特になし。
Q1 室内環境 5階部分に事務スペースを集約化し、1~4階倉庫部分は必要に応じ間仕切壁を設置できるように計画し、空間の効率化を図っています。	Q2 サービス性能 敷地内の通路については、車両と歩行者の動線を明確に分けて計画しています。また、上りランプ、下りスロープを設け車両の動線を交錯させないようにすることで2階3階へも効率的な搬送が可能となっています。	Q3 室外環境(敷地内) 南、東側道路に緑地帯を設け周辺環境と調和した外構計画としました。また、空調機の熱源については、全て電気でを行い、排熱を抑える計画としました。
LR1 エネルギー 設備システムの効率化を図り、省エネルギー対策を行った。	LR2 資源・マテリアル 節水型器具を採用し、水資源負荷の低減に努めました。また、解体時を考慮し、再利用可能なユニット部材を使用しました。	LR3 敷地外環境 施設利用者のために、十分な駐車スペースと駐輪場を設けています。集中豪雨対策として、雨水貯留槽を設け、放流量の上限を設定できる計画としています。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Built Environment Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
(仮称)狭山日高IC開発計画新築工事

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
 評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
0 建築物の環境品質									3.1
Q1 室内環境					0.31				3.1
1 音環境				3.6	0.15				3.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40				
1.2 遮音				4.2	0.40				
1 開口部遮音性能		開口部の遮音性能をT-2として計画している		5.0	0.60				
2 界壁遮音性能				3.0	0.40				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音		床、天井に吸音材料を採用している		4.0	0.20				
2 温熱環境				2.6	0.35				2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50				
1 室温				3.0	0.38				
2 外皮性能				3.0	0.25				
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38				
2.2 湿度制御				1.0	0.20				
2.3 空調方式				3.0	0.30				
3 光・視環境				3.0	0.25				3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.30				
1 昼光率				3.0	0.60				
2 方位別開口									
3 昼光利用設備				3.0	0.40				
3.2 グレア対策				3.0	0.30				
1 昼光制御				3.0	1.00				
3.3 照度				3.0	0.15				
3.4 照明制御				3.0	0.25				
4 空気質環境				3.6	0.25				3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.50				
1 化学汚染物質		内装材においてF を全面的に採用している		4.0	1.00				
4.2 換気				3.3	0.30				
1 換気量				3.0	0.33				
2 自然換気性能				3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		汚染源の無い方向から給気し、排気口と6m以上離している		4.0	0.33				
4.3 運用管理				3.0	0.20				
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50				
2 喫煙の制御				3.0	0.50				
Q2 サービス性能					0.30				3.5
1 機能性				3.4	0.40				3.4
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40				
1 広さ・収納性				3.0	0.50				
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.50				
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性				4.3	0.30				
1 広さ感・景観		事務室の天井高さを2.9m以上とし、窓を設置している		5.0	0.33				
2 リフレッシュスペース		執務スペースの1%以上リフレッシュスペース、自販機コーナーを設置		5.0	0.33				
3 内装計画				3.0	0.33				
1.3 維持管理				3.0	0.30				
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50				
2 耐用性・信頼性				3.2	0.30				3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途2種以上の配管に耐用年数評価C以上、Eは不使用		4.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				3.8	0.20				
1 空調・換気設備		系統分けし、重要度に応じて運転が可能。耐震クラスAにて計画。		5.0	0.20				
2 給排水・衛生設備		節水器具の使用、系統の区分け、給水ポンプに蛇口を設置		4.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法		耐震クラスAにて計画。		4.0	0.20				
5 通信・情報設備				3.0	0.20				

3 対応性・更新性			4.2	0.30	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 < 0.1	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		荷重の設定を4,500N/m ² 以上で計画	5.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m = 0.71	5.0	0.01	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.63	4.7	0.62	-	-	4.7
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型器具を採用。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床材	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装間仕切の乾式仕様採用、OAフロアの採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.7	0.20	-	-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.6	0.70	-	-	
1	消火剤		2.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO ₂ 排出量73%。	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		燃焼器具の設置はしない。	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	用途上適切な駐車場や交通動線の計画をしている	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		-	-	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	1.00	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)狭山日高IC開発計画新築工事	BEE	1.5	BEEランク
------	--------------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.7	+	2.3	=	6.0
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
				

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	3.7
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.7
< 配慮した内容を記述 > ライフサイクルCO ₂ 排出量を低減する計画としています。 設備システムの効率化を図り、省エネルギー対策を行っています。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
< 配慮した内容を記述 > 「ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例」を満たす緑化計画としています。			

: 入力欄